

AOB

Information: インフォメーション

1908年に創立されたAOB(アカデーミッシェス・オーケストラ・ベルリン)の輝かしい伝統をふり返ってみよう。AOBは、アマチュアのオーケストラとしてベルリンフィルハーモニーをはじめ日本、イタリア、ポーランド、フランスでの海外公演も含め沢山のコンサートを行ってきた。有名なソリストと共演した数々の演奏会でその実力を証明してきたAOBの名声はベルリンのみならず海外でも知られるようになった。

AOBの演奏レパートリーはクラシック曲から現代曲まで幅広い。オーケストラの水準は聴衆から高く評価され、そして、その評価がオーケストラの発展と新たな挑戦への意欲に繋がっている。

若いタレント性の発掘

今日名声高い音楽家がAOBとの演奏を踏み台に演奏家としてこれまで数多く大成して行った。2008年、AOBは創立100周年を迎えベルリンフィルハーモニーで記念演奏会を行った。記念演奏会では世界的ソプラノ歌手、アネット・ダッシュがマーラーの“リュッケルトの詩曲”を歌ったが、AOBが誇る代表的な一例だ。AOBは優れたタレント性をもつ若い演奏家にデビューのチャンスを与えるとともに演奏活動の支援も主要目的としている。AOBは2010年にベルリン・シュテータグリッツ区にあるドゥナント小学校の弦楽器グループの里親となり、子供達の演奏指導や支援を行っている。アマチュアオーケストラでは初めてのプロジェクトだが、弦楽器演奏に対する子供たちの興味を強く育んでいる。

海外演奏旅行と合同演奏会

AOBの伝統のひとつに海外演奏旅行がある。外国のオーケストラやコーラスとの交流を図り、互いの国で合同演奏会も開催する。AOBの歴史で最も大きな出来事として特別な位置をしめているのは、1998年のイースターに実現した東京演奏旅行だ。2000年には東京で一緒に演奏した町田フィルと狛江コーラスをベルリンに招きベルリンフィルハーモニーで演奏会を行ったが日本公演一連企画の頂点を極めた。2005年、AOBはハンス・アイスラー・コーラス、ポーランドのチェツィン・コーラスと合同でガーシュイン作曲“ポギーとベス”を演奏した。矢張り特出すべきものだ。2009年のフランスのプロヴァン(写真:アルシでの演奏会)演奏旅行でも成功を治めた。ウェーバー、R・シトラウス、ドヴォルザークなどの曲を演奏し好評を得た。

創造的な人間像

AOBの音楽的プロフィールは、故ハンス・ヒルスドルフ教授によって造り出された。ヒルスドルフ氏は、1962年から37年間、AOBの指導と作曲活動に当たり、まさに“ヒルスドルフ・オーケストラ”という感じがぴったりした。1999年、アンドレアス・シュラー氏が後任として就任しオーケストラの活性化と技術の向上が飛躍した。2003年、ペーター・アダーホルド氏が指揮者として就任、今日に至っている。同氏は40を超えるオペラ劇場で指揮する一方作曲家としても活躍している。同氏の代表的オペラ曲“マルティン・ルター”は、エアフルトオペラ劇場で初演された。コンサートマスターには元ベルリンフィル・ヴァイオリン奏者のハンス・オートレップ氏を迎え、オーケストラの向上に努めている。

コンサート展望

2010年11月21日、AOBはRBBコンサートホールで定期演奏会を行う。曲目はショパン・ピアノ協奏曲「1番」とメンデルスゾーン交響曲「3番」を予定している。また、2011年4月3日には日本から2つの合唱団を迎え、コレギウム・ヴォカール・ベルリン合唱団と一緒に、日独交流150周年記念行事の一環として、ベルリンフィルハーモニーでベートヴェン交響曲「9番」(合唱付)を演奏する。102年の歴史を持つAOBだが、初めての演奏となる。

コンタクト

Akademisches Orchester Berlin e.V

c/o Dr. Wolfram Irmner

Spessarstr. 14 , 14197 Berlin

Tel.: 0163 460 08 87

E-Mail: info@aob-ev.de

Web: <http://www.aob-ev.de>